(2) CBI 海洋科学

① 講　師：Nicole Cronen（本校英語招聘講師）

② 日時，場所：令和 4 年 1 月 31 日（月），第 1 物理実験室

③ 実施内容

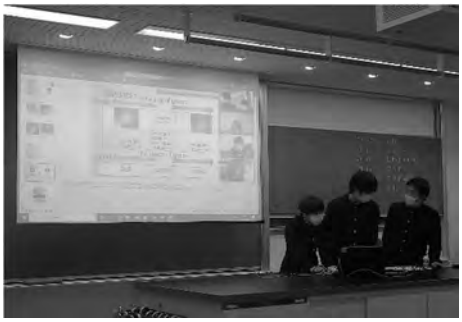
「My Life in Marine Science」と題して Nicole 先生の専門分野である「海洋生物」について，アメリカの海洋研究所での自身の活動等を中心に教えていただいた。昨年度同様，イルカのヒレの形状を使った個体識別方法や，事故にあったウミガメの救出とリハビリについてなど学び，更に今年度はカブトガニの血液と新型コロナワクチン開発の関係についても追加で学んだ。講義はほぼすべて英語であったが，関連する専門用語については事前に英語の授業で予習していたことと，Nicole 先生がシンプルな英語で話されたことから，多くの生徒が内容を理解でき，講義後は積極的に質問もできていた。

(3) 英語によるプレゼンテーション

英語での科学コミュニケーション力を身につけることを目的に，英語によるプレゼンテーション指導を行っている。2018 年度までは，3 月の海外研修においてイギリスの現地交流校で，課題研究のポスターセッションを行っていたため，その事前研修として実施していた。昨年に続き今年度も新型コロナウイルスの影響で海外研修が中止となったが，国際社会で活躍できる科学技術系人材育成のため課題研究の班ごとに英語科教員を配置し，英訳指導を継続している。

さらに，本校が市立高校であるメリットを活かし，高松市教育委員会を通じて，高松市立の小中学校に勤務している外国人英語指導助手による科学英語向上プログラムを実施した。今年度は 1 月 12 日（水）～2 月 3 日（木）の期間で，放課後 17:00～19:00 の時間帯に，6～10 名の外国人英語指導助手に来てもらい，表現や発音指導，及び英語による質疑応答のトレーニングを行った。

2 月 4 日（金）の SSH 研究成果報告会では，英語での課題研究発表会を行った。発表会は当初対面形式を予定していたが，直前で本県にまん延防止等重点措置が適用されたため，急遽校内に対しては対面，校外に対しては Zoom を用いたオンラインというハイブリッド形式へと変更となった。生徒は，外国人英語指導助手や他校の先生方，運営指導委員，特別理科クラスの 1 年生に対し，発表を行った。生徒にとっても初めての発表形態であったが，オンライン，対面ともに積極的な質疑応答ができており，生徒の自信に繋がった。



(4) コロラド州立大学との発表交流会（海外研修代替行事）

① 目　的：英語によるプレゼンテーションを行うことで科学英語の表現方法や語彙力を高め，科学的コミュニケーション能力を養う。また，海外の大学生との交流を通じ，視野を広げる。

② 日　時：令和 4 年 3 月 1 日（火），2 日（水）　8：45 ～ 9：35

③ 場　所：MM 教室，PC 教室

④ 対　象：特別理科コース 2 年生

⑤ 実施内容

アメリカのコロラド州立大学とオンラインでつなぎ，大学の日本語サロンに通う大学生に対して課題研究の内容を英語で発表し，その後，発表内容や各自の興味関心に応じて自由にテーマを設定して交流を行った。日本とコロラド州の時差は－16 時間であり，こちらの 9 時がコロラド州の 17 時に相当する。大学生がちょうど大学での講義を終えたくらいの時間に当たり，様々な場所から交流会に参加する形となった。生徒は，昨年末から少しずつ作り上げてきた英語プレゼンテーションの集大成ということで，これまでの練習の成果が出せるよう一生懸命発表交流会に臨んでいた。本校生徒，大学生ともにお互いが困ったときには，英語と日本語の両方を使い助け合いつつ有意義な交流を行うことができた。